

とになりました。

(東) 私は岩倉市長の脱炭素に関する考え方やビジョン、何より「ワクワクとチャレンジされている」ことに共感し、まさにエンタメとテクノロジーを融合しワクワクした取り組みをされているSUGIZOさんとコラボすると新たな可能性が広がる予感がし、今の場につながっています。

そして、ワクワクする苦小牧市の取り組みと言えば「ミライフフェスト」！音楽コンテツに加え、アート、食、未来のテクノロジーなどを取り入れた老若男女が幅広く楽しめるイベント。まさにSUGIZOさんの取り組みにピッタリで、これまでの取り組みを、皆さんに伝える絶好の機会として、GXプログラムをミライフフェストで実施することになりました。

(岩) 本市では都市再生コンセプトプランを策定し、ウォーカーカブ、いわゆる歩きたくなるまちを

どのようにつくっていくか、駅前から「キラキラ公園」までのウォーターフロントをどのように活用するかが重要なテーマとしています。

市民の皆さんに支持される次世代のまちづくりを行いたいという思いを込めて、キラキラ公園でミライフフェストを開催します。港で発展してきた苦小牧を感じながら、近未来に向けたテーマで苦小牧の未来を感じてもらえればと思います。

(S) われわれは、「水素でこんな素晴らしい経験ができる」と、多くの人々に体験してもらおう「橋渡し」です。水素発電によるコンサートや、水素コンロで調理する料理をぜひ体験してもらいたい。

環境に少しでも負荷をかけない方法でエンタメをやりたいというコンセプトからスタートした取り組みでしたが、実は「副産物」として音のクオリティが高いことが分かりました。水素料理も全く同じで、環境に負荷をかけない調理法が、結果

SUGIZO氏

作曲家、ギタリスト、ヴァイオリニスト、音楽プロデューサー。日本を代表するロックバンドLUNA SEA、X JAPAN、THE LAST ROCKSTARSのメンバーとして世界規模で活動。音楽と並行しながら平和活動、人権・難民支援活動、再生可能エネルギー・環境活動、被災地ボランティア活動を積極的に展開。アクティヴィストとして知られる。2017年よりコンサートの楽器電源に水素エネルギーを活用するなど、脱炭素社会を実現する活動に注力している。

SUGIZO

みんなが未来をよりよくするために
僕らはこの時代を生きている



▲▼SUGIZO氏の最高のロックパフォーマンスと水素自動車が創り出すクリアで洗練された音が織りなす熱いステージで、観客のボルテージも最高潮に
(Photo by Keiko Tanabe)



的にものすごくおいしいことが分かりました。北海道の食材ほど水素料理に合うものはないと思います！

今後、水素には健康・美容など無限大の可能性があると感じています。そのポテンシャルを、市民の皆さんが体験できるフェスで披露できるのは最高のシチュエーションです。このような取り組みはまだ世界中どこもやっていないので、まず苦小牧から始める。そして苦小牧が今後、グリーン水素製造の拠点になればいいな。

(岩) GXプログラムをきっかけに、特に子どもたちに対する環境教育を大事にしていきたいです。

(東) まさに子どもたちがミライフフェストで環境問題に興味を持つとともに、脱炭素に関連するテクノロジーにはこのような使い方があるんだ！といった体験をしてもらいたいですね。

(S) やはりキーワードは「ワクワク」、希望にあふれること、未来がよりよくなっているはずだと思えること。みんなが未来をよりよくするために僕らはここにいて、この時代を生きている。子どもたちが当たり前前にそれを感じてくれる世の中にしていきたい。



▲ミライフフェストミニステージでの港を感じながらのトークセッション

◀グリルとスチームが同時に行われる水素料理。外はカリカリ、中はジューシーの新しい食感

子どもたちが自分たちの将来と結び付けて、自ら考えてくれるような環境整備が必要ですね。自分たちが一歩動くことによつて世の中のスイッチが変えられる、シフトができるという思考を小学生から持ってくると世の中はどこまで素敵になるんだろうか、と常々思います。

(岩) ありがとうございます。ぜひ苦小牧の未来に向けてよろしく願っています。

(東) 本日はありがとうございます。GXプログラム実現に向けて頑張りましょう！